

## 夢を見つけた基地見学

### 航空機やパイロットに感動し自衛隊を受験、見事合格



厚木基地見学記念 H25.12.16

当時の記念撮影の様子  
(右から3番目が加藤さん)



当時の基地見学の様子

神奈川地方協力本部厚木募集案内所(所長 酒井 1海尉)が、平成25年12月に実施した厚木基地航空地見学の参加者で、大和西高校2年(当時)の女子生徒(加藤さん)が昨年、自衛官候補生を受験、倍率約10倍の難関を見事突破した。

加藤さんは、「当時見ていた自衛隊の人気テレビドラマがきっかけで見学を希望したが、受験は考えていませんでした。しかし、見学してみると航空機やパイロットに感動し、自衛官になりたいという思いが芽生え、気づいた時には、たくさんのイベントや説明会に参加したり、募集案内所を何度も訪れて受験のアドバイスをしてもらいました。将来はパイロットになりたいので航空学生の受験を考えています」と更なる希望を膨らませていた。

厚木募集案内所は、「今後も、地域の学校と連携し、一人でも多くの生徒に自衛隊の魅力をPRしていく」としている。

## 神奈川県自治体等就職推進連絡会同 (自治体との連携強化を促進！！)



神奈川地方協力本部(本部長 高田 充1海佐)は、平成26年12月22日(月)、神奈川県自治体等就職推進連絡会同を実施した。

これは、神奈川県では初めての試みで、①防災職員雇用の促進のための情報交換、②自治体、関係部隊及び神奈川県との協力関係の強化を目的に実施した。

また、神奈川県内の自治体に再就職した退職自衛官は全国的にも多く、県、政令指定都市等8自治体で19名(陸13名、海6名)にも上る。

当日はOB防災職員12名、関係部隊等(陸海空)13名、地本9名の参加の中、特にOB防災職員の方々が各自治体の防災に対する取組をユーモア交えて熱く話されたことが印象深く、業務の大変さや尽力振りが伝わり東日本大震災以降、各自治体の防災に対する意識が更に高まっていることも伺えた。

神奈川県は「県内の特徴から自治体及び自衛隊との連携を強化し、採用拡大を図っていくとともに、このような情報交換の場を今後も実施していきたい」としている。